



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

2021  
March  
No.189

# 士会だより



## 特集：理学療法士養成校の「今」～教育×COVID-19～

### Index

- ・ 巻頭言 ..... 2
- ・ 特集：理学療法士養成校の「今」～教育×COVID-19～ ..... 3・4・5・6
- ・ 古賀友彌先生 日本理学療法士協会永年会員表彰を受賞 ..... 7
- ・ 各部だより ..... 8・9・10・11
- ・ INFORMATION ..... 11
- ・ 兵庫県で活躍する理学療法士～数珠繋ぎ～ ..... 12



## 組織の継続性を考える ～住民集いの場の例に鑑みて～

副会長 山本 克己(兵庫県理学療法士会)

全国でコロナ禍が猛威を振るう中で、最近住民集いの場の休止の連絡が立て続けに入りました。いずれも参加者もスタッフも明るくてとてもいい雰囲気のところですのでとても残念に思っております。

1つ目のところは昨年、長年代表をされていた方が亡くなり、このコロナの影響もあって活動の継続が難しくなったと思われます。

2つ目は20数年集いの場を主催されてきた代表の方から直接連絡があり、活動を休止するとのことでした。こちらは私も立ち上げからお手伝いし、年に数回は体操や健康講話、レクリエーション、野外活動などで参加し、その他にも、他の集いの場や障害者団体との交流会、地域住民との地域交流会などを主催され、幅広く活動されておりました。当会との関りも深く、県からの委託で作成した「介護予防大作戦 B型機能訓練事業支援推進ハンドブック」への活動報告の投稿や、「第55回近畿理学療法学会」において市民公開講座での講演もお願いいたしました。

コロナの影響もありますが、住民集いの場の運営団体が個人のリーダーに負うところが大きい場合は、ご自身やスタッフの高齢化、後継の人材不足等の問題を抱えている場合も多く、今後の継続性の担保を考える場合に、後継者育成、役割分担等の組織体制の整備が必要かと思われます。それを踏まえたところで、行政や地域の方々、セラピストの支援や協力が必要なのだと思います。

この組織の継続性を当会にふり返ってみますと、組織強化のための取組みは、支部の活動の推進や学会運営審議会設置による学術体制の整備、事務局機能の強化、ICTの推進など、鋭意進めております。人材・後継者育成についても、若手会員の増加に従って、総会員数の増加もあり、可能な限り県士会の運営や事業への協力の場面を提供し、県士会活動の理解を深めて、将来を担っていただく方々に対して、円滑に組織の継続性が図れるため努力を進めていきます。9人から始まった当会が5千人を超える組織となり、それに対応した新しい取り組みや改善を図っていきますので、今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

### 会長 行動録

12/16	兵庫県リハ3士協議会第3回幹事会 (WEB会議)	1/12	職能部・連盟合同部会 (WEB会議)
12/17	神戸市議会議員香川真二氏との面談(プレントィ西神中央)	1/14	県PT士会施設代表者研修会(士会事務所・WEB会議)
12/18	兵庫県リハ3士協議会県高齢政策課訪問(兵庫県庁)	1/15	県PT士会理事会(士会事務所・WEB会議)
12/19	県PT士会拡大理事会(士会事務所・WEB会議)	1/16	近畿理学療法士連盟役員会 (WEB会議)
12/21	脳性まひ等肢体不自由児者研修会準備委員会 (WEB会議)	1/25	脳性まひ等肢体不自由児者研修会準備委員会 (WEB会議)
12/26	脳性まひ等肢体不自由児者研修会(県福祉センター)	2/2	職能部・連盟合同部会 (WEB会議)
1/5	脳性まひ等肢体不自由児者研修会準備委員会 (WEB会議)	2/3	第1回職能部研修会(士会事務所・WEB会議)
1/10	兵庫県リハ3士協議会 人材育成研修会StepIII (WEB会議)	2/7	近畿ブロック士会長会議(グランキューブ大阪)



# 理学療法士養成校の「今」 ～教育×COVID-19～

+++++

甲南女子大学  
看護リハビリテーション学部 野添 匡史 氏

+++++

昨年来続いているCOVID-19感染流行の影響で、今後、理学療法士を目指す学生が臨床実習等を十分に経験できない状態で就職し、患者・利用者の治療に携わることが予想されます。そのような新卒者を迎え入れる臨床現場においては、新たな卒後教育のあり方を検討する必要性が生じてきています。本稿では、今後の卒後教育の一助になることを期待し、COVID-19感染流行下における理学療法士養成校(以下養成校)での対応について概説します。

## 【COVID-19感染流行と学校教育の対応】

2020年1月上旬に厚労省からCOVID-19に対する注意喚起が出されましたが、この時点では学校教育にCOVID-19の影響が及ぶことはありませんでした。実際、2月に実施している本学の評価実習も例年通り実施されていました。しかし、小中高における臨時休校要請が2月末に出されて以降、養成校においても登学禁止や新学期開始の遅れといった措置がとられました。特に近畿圏内の多くの養成校が総合臨床実習を実施する4月、5月において、兵庫県は緊急事態宣言下であったため、大半の養成校が実習中止という決断をしていました。

文科省・厚労省から出された事務連絡において、「実習中止となった学生とそうでない学生で修業の差が生じないように配慮すること」、「実習中止となった場合は、年度をまたいで実習を行っても差し支えないこと」、「年度をまたいでの実習が困難な場合は演習又は学内代替実習等を実施すること」といった方針が示されました。しかし、多くの養成校において総合臨床実習は最終年度に実施が予定されているため、当然年度をまたいだ実施が困難となり、多くの養成校で演習又は学内代替演習が行われることとなりました。

## 【実習中止に伴う学内代替演習】

総合臨床実習中止に伴い、学校教育の現場ではどのような対応が必要となったのでしょうか。2月末に

## 【学内代替演習の実際】

実際に学内代替演習はどのようなものであったか、本学の代替演習内容を例に説明します。まず、多くの養成校において、2020年4月、5月は登学そのも

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由を説明する</li> <li>② 検査結果の関連性について説明する</li> <li>③ 対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明する</li> <li>④ 対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明する</li> <li>⑤ 理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明する</li> <li>⑥ 理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明する</li> <li>⑦ 実施内容を診療記録に記載する</li> <li>⑧ カンファレンスでの症例提示内容について説明する</li> </ul> |
|---|

表1. 臨床推論課題としてコアカリで掲げられている学修目標7項目



図1. 臨床実習前の感染対策指導

のが禁止されており、学内代替演習はオリエンテーションを含め遠隔で行わざるを得ない状況でした。そのため、理学療法学教育モデル・コア・カリキュラムに掲げられている臨床実習で学修すべき項目のなかでも、「理学療法プロセスの理解」を中心に演習を行いました。具体的には、理学療法プロセスの理解に必要な学修目標7項目のうちの5項目(表1:①-⑤)の学修を促すために、さまざまな症例を提示して段階的な学修を展開しました。

症例情報に基づいた学修は、対象症例における主な疾患の病態や医学的管理から学び直したのちに、症例の画像情報や各種検査結果等、診療録の一部を閲覧しながら、どのような症状が出現するかを予想させ、そこから必要な検査・測定項目を挙げる課題を実施しました。その後、実際の症例の診療場面に加わったことを想定した演習にシフトし、症例の歩行中の動画を閲覧することで、出現が予想される症状・所見をさらに絞り込み、トップダウン的に必要な検査・測定を絞り込む演習を実施しました。最後に、全ての症例情報を提示した上で、ICFに準じた問題点の抽出・整理、さらには予後予測とそれに基づいたプログラム立案を行いました。

その他、施設での実習実施を想定した感染対策に関する学修や(図1)、リスク管理に関する学習課題も設定して実施しました。このような代替演習に関して、養成校間で多少の違いはあっても、少しでも臨床実習で学ぶ内容に近づくように養成校ごとに工夫をしながら行われていました。

### 【学内代替演習の教育効果】

本学では、前述のような学内代替演習を計10週間実施した後に、各実習施設での総合臨床実習を4週間実施しました。その4週間の臨床実習について、我々教員も一部の学生を指導する機会があり、偶然にも学内代替演習で経験した症例と類似した症例の診療に学生と共に参加できる機会がありました。その際、学内演習の経験を応用・適応でき、病態把握や予後予測をスムーズに理解することができる学生もいれば、現場で診る症例について理解が十分追いつかず、学内演習での経験を活かさない学生も少なからず存在していました。一方、学内演習をうまく応用できた学生であっても、対象者の方を目の前に過度の緊張で指示が出せない、指導者の先生とコミュニケーションが図れず、診療参加が難しくなるケー

10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む

## 総合リハビリテーション学部

**理学療法学科**

- 理学療法士国家試験受験資格
- 健康運動実践指導者認定試験受験資格\*

**作業療法学科**

- 作業療法士国家試験受験資格

**社会リハビリテーション学科**

- 社会福祉士国家試験受験資格
- 精神保健福祉士国家試験受験資格\*

**総合リハビリテーション学研究科**

(大学院) 修士課程・博士後期課程

\*指定科目の単位修得者が取得できる資格

**神戸学院大学** 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518  
有瀬キャンパス TEL (078) 974-1551 (代表)

医療で社会をつなぐ  
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園  
**宝塚医療大学** 0120-00-1239  
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑が丘1  
保健医療学部  
宝塚医療大 検索  
■理学療法学科 ■柔道整復学科 ■鍼灸学科 http://www.tumh.ac.jp/

スもありました。つまり、学内演習によって臨床推論能力を底上げすることは可能ですが、対象者への対応や実習施設指導者を中心とした現場職員とのコミュニケーションについては、学内演習では得られない経験であることも再認識しました。

### 【学内代替演習を受けた学生の反応】

臨床現場での実習実施後に、「これだけの短期間の実習で本当に大丈夫だろうか」、「短い実習期間が就職採否に影響を与えるのではないか」といった不安を口にする学生も存在していました。一方、実習終了時における自己の成長具合について質問紙法にて返答してもらったところ、通常のカリキュラムで実習を実施した昨年度と比べて特段劣る項目はなく、逆に臨床推論課題遂行に関する項目の一部は有意に高い成長を実感していることが確認されました(表2)。しかし、臨床推論課題のなかでも、さまざまな情報をもとに統合と解釈を必要とする内容に関して

は、容易には改善しにくいことも明らかになりました。

### 【現状の学内と臨床実習】

本稿執筆現在(2021年2月20日)においても兵庫県は緊急事態宣言下である一方、多くの養成校において同じ緊急事態宣言下であった2020年4月とは異なる学修環境になっています。文部科学省からの通達(2021年1月8日)においても、「緊急事態宣言の対象区域に所在する大学等においても、感染対策をより慎重に講じた上で、面接授業の実施が適切と判断されるものについては、引き続き、その実施を検討する」との指示があり、本学でも対面と遠隔の両方の形式を組み込んだ授業が展開されています。また、緊急事態宣言下においても予定通り臨床実習を実施している施設や、本学のように学内に模擬患者の方にお越しいただき、学内代替演習を展開している養成校も存在しています(図2)。Withコロナという言葉の通り、このような緊急事態宣言下において

<p>例年以上に成長実感できた項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習後、提出期限が守れる。</li> <li>・実習後、患者さんに関する情報収集ができる。</li> <li>・実習後、患者さんに応じて検査・測定項目を適切に選択できる。</li> <li>・実習後、問題点の抽出、問題リストの作成ができる。</li> </ul>
<p>例年と同程度だった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習後、動作・歩行分析ができる。(異常な現象を発見し言葉で表現できる。)</li> <li>・実習後、検査・測定結果の統合と解釈ができる。</li> <li>・実習後、機能障害と動作・ADLの問題点とのつながりを分析できる。</li> <li>・実習後、問題点の抽出、問題リストの作成ができる。</li> <li>・実習後、評価を通して、治療プログラム立案に向けた考察ができる。</li> <li>・実習後、患者さんの全体像を、生活の視点や社会的背景を含めて把握できる。</li> </ul>

表2.実習後に学生自身が成長を実感できた項目

大学院 医療科学研究科

職業実践力育成プログラム  
Strash up Program for professional

研・研 臨床力  
ステップアッププログラム

リハビリテーション科学  
課題研究コース

本プログラムは、職業に必要な能力を高めることを目的として、社会人や企業との連携による実践的・専門的なプログラムとして、2019年度から実施しています。

西日本を代表する医療総合大学へ  
Leading Health Science Innovation

学校法人 兵庫医科大学  
兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6  
■大学に関するお問い合わせ ☎078-304-3034

100th  
KUNAN WOMEN'S UNIVERSITY

女性だから、できるケアがある。  
女子大学で、女性のための理学療法を学び、リーダーシップがとれる理学療法士へ。

看護リハビリテーション学部  
理学療法学科

〒656-0001 神戸市東灘区美立町6-2-25 <http://www.kwansei.ac.jp>



図2.学内に模擬患者にお越しいただいて行う学内代替演習



も十分な配慮のもと臨床実習が展開されることは、学生のみならず、将来の我々の後輩を育成していく上でも必要なことではないかと考えます。

### 【新卒者を受け入れる臨床現場に求めたい卒業後教育について】

前述の通り、学内代替演習に十分な時間をかけた結果、臨床推論に関しては例年以上の経験値を積んでいる可能性も考えられます。一方、臨床実習中に知識を積んでいくことが経験できていないことを不安視される方もいらっしゃるかもしれません。しかし、就職する新卒者は、当然ながら国家試験を合格した方であり、一定レベルの知識を備えていることは間違いありません。しかし、この知識の活用及びアウトプットに関しては、例年以上に臨床現場の“場数が少ない”ため、今後十分な指導が必要になってくることが予想されます。本学の学内代替演習においても、種々のプレゼンテーション場面を設定しながら学修を進めましたが、あくまで同級生や教員とのやり取りが中心です。初対面の対象者や、知識・経験・見解が異なる他

職種とのコミュニケーションは似て非なるものであり、このような方と適切なコミュニケーションをとっていく経験が不足していることは否めません。

また、技術的側面の不足は、新卒者自身が最も感じている点かと思います。特に、短い臨床実習の中で経験した内容に関して、養成校間または学生間で例年以上に偏りが大きい可能性があります。卒業後教育を担う臨床現場では、そのような偏り・不足点・不安な内容を新卒者から聞き出しながら卒業後教育を進めていく必要があります。

本邦の理学療法教育は今年度から必修単位数が増加した新カリキュラムがスタートしていますが、医療の発展とともに、臨床家が身に付けておくべき知識・技術は増大しており、この新カリキュラムを履修すればおのずとそれに対応できるようになるとは到底言えず、卒業後も継続した生涯学習の支援が必要になってきています。今回のCOVID-19への対応を契機に、養成校が理学療法士養成のためだけでなく、卒業後も含めた生涯学習に関わることで、より臨床現場での教育効果も高まるのではないのでしょうか。

創立46年

病院を母体とする医療の総合教育校

理学療法士科 作業療法士科  
診療放射線科 臨床工学科  
視能訓練士科 言語聴覚士科  
臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会  
**KCC** 神戸総合医療専門学校

〒654-0142 神戸市東灘区東谷町7丁目1番11号  
TEL.078-795-8000 内線 TEL.078-795-8100 (入声)  
http://www.kobecc.ac.jp 神戸総合医療

リハビリ訪問看護ステーション部 アスリートサポート部 ソーシャルメディア広報部

**Steps**  
想いをカタチに

予防医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754  
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所  
〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

# 古賀友彌先生(当会第3代会長) 日本理学療法士協会永年会員表彰を受賞

当会第3代会長の古賀友彌先生が日本理学療法士協会永年会員表彰を受賞されました。ここに古賀先生の永年のご貢献に感謝し、古賀先生のお言葉と岩井会長のお祝いの言葉を掲載させていただきます。

## 感謝に寄せる思い 古賀 友彌



このたび、私は日本理学療法士協会より感謝状を頂きました。ふり返れば50数年前、理学・作業療法士法が制定され我が国におけるリハビリテーション医療の幕開けとなりました。私は、1967年理学療法士免許を取得以来、同志たちと兵庫県理学療法士会を設立し専門職としての向上をはかるため、理学療法士学会および研修会などを開催し、リハビリテーション医療の発展に寄与してまいりました。そして長年にわたり多くの先生方、そして仲間たちに支えられてこの道一筋に歩いてまいりました。50有余年、精力的に理学療法の発展や後進の育成に尽力してきたことを認めて評価して頂いたことを非常に嬉しく思います。折しも新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外出も控え、親しい方々とも会えず気持ちが滅入っていた中でこのような感謝状を頂きました事は、私の励みとなりました。これからも日本理学療法士協会、兵庫県理学療法士会のさらなる発展を祈念いたしますと共に、これからの余生、私でできることであれば、微力ながらも貢献していきたいと思っております。

令和3年1月吉日

## お祝いの言葉 会長 岩井 信彦

本会第3代会長の古賀友彌先生が日本理学療法士協会「永年会員表彰」を受賞されました。古賀先生は本会の設立メンバー9名「オリジナルナイン」のおひとりです。長く神戸大学病院で勤務され、退職後も理学療法士として後進の指導に当たられています。そして本会の相談役として現在も日々士会活動にご尽力頂いております。

昭和42年本会発足後、高度経済成長、オイルショック、バブルの崩壊、阪神・淡路大震災、リーマンショック、激動の昭和と平成の時代にあって、先生は兵庫県の理学療法士の先頭に立ち私たちを導いて頂きました。そのおかげで現在の兵庫県理学療法士会があります。

先生におかれましては、末永く私たちを見守って頂きたく思います。今回の受賞は本会にとって非常に名誉なことです。今後ますますのご活躍を祈念し、お祝いの言葉とします。本当におめでとうございました。

医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

**神戸医療福祉専門学校中央校**  
【理学療法士科】 【鍼灸科】 【作業療法士科】  
〒650-0218 神戸市中央区東長町2丁目1番20号  
 (URL) <https://www.knwc.ac.jp>

**神戸医療福祉専門学校三田校**  
【理学療法士科】 【作業療法士科】 【言語聴覚士科】  
 【鍼灸科】 【看護科】 【看護士科】  
 【看護福祉士科】 【理学療法士科】 【作業療法士科】  
〒650-1393 三田市福島505-65  
 (URL) <https://www.knwc.ac.jp>

**姫路医療専門学校**  
【作業療法士科】 【言語聴覚士科】 【福祉工学士科】  
 【看護福祉士科】  
〒670-0827 姫路市宮原2丁目2番2号  
 (URL) <https://www.jnmc.ac.jp>

誰かに「してもらう」から  
自分でするへ

**介護事業分野**

- ・通所介護
- ・訪問看護
- ・訪問介護
- ・居宅介護支援

**その他事業**

- ・レストラン
- ・高齢者向け賃貸マンション
- ・就労支援
- ・児童発達支援・放課後等デイサービス
- ・アパレル事業

**調査・研究室**

- ・社会や業界の情勢・動向調査
- ・新規企画・開発
- ・社内外へ啓発活動
- ・セミナー事業
- ・大学共同の研究活動

株式会社スイッチオンサービス  
 〒664-0006 兵庫県伊丹市西海部3丁目16-10  
 TEL: 072-772-3235

Switch On service

求人はこちら

## スポーツ活動支援部

### シッティングバレーボールZOOM勉強会活動報告

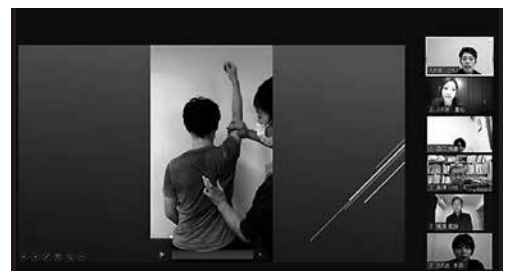
スポーツ活動支援部では、毎年2月に開催されるシッティングバレーボール大会のコンディショニングサポートを実施しています。今年はコロナの影響で大会が中止となってしまいました。そこで2020年12月18日にZOOMにてシッティングバレーボールの競技紹介や現場活動の支援内容、症例検討として競技特性を踏まえた現場での肩の診方の勉強会を実施しました。現場活動の経験の少ない方にもわかりやすい内容で実施しました。

今回の勉強会には14名の先生方に参加していただきました。

勉強会に参加した方の感想です。

今回の勉強会を通して、競技内容やルール、スポーツ活動支援班としてサポートしている競技や活動内容、肩関節の障害に対する診かたなどを講義していただき、とても勉強になりました。シッティングバレーは、健常者も障がい者も楽しめるスポーツとしてとても魅力を感じました。そういった競技を本日知る事ができ、有意義なものになりました。肩関節障害の診かたも実際の模擬症例を掲示して頂いたことで臨床に直結する内容でとても参考になりました。そして、スポーツ活動支援班の方々も丁寧に分かりやすく講義頂き、スポーツリハ初心者の自分も入っていきやすい内容でとても為になりました。

伊井 孝志(平成病院)



### 車椅子テニスWEB勉強会報告

1月31日、緊急事態宣言に伴いスポーツ活動支援部の実技を中心とした勉強会の開催が難しくなり、ZOOMを用いた勉強会を開催しました。勉強会は2部構成で行われました。前半は神戸総合医療専門学校の安村明子先生による「車椅子テニス大会における理学療法士の関わり」について幅広く説明していただきました。後半は藤田整形外科・スポーツクリニックの古川裕之先生による「車椅子テニスの競技特性とその傷害に対する理学療法」について講義していただきました。どちらの講師も写真や動画を多く使用し、わかりやすく解説していただきました。参加者は29名、滋賀県から参加された方もいらっしゃいました。ZOOMの利点もあり兵庫県から近畿、そして全国へスポーツ現場活動に関心のある療法士の輪が広がることを期待します！

(感想文)

車いすテニスに対して、単に車いすに座ってやるテニスであるという認識であった自分に恥ずかしさを感じさせ、その分すぐれた内容になった内容でした。脊損や肢体不自由のハンディがあることは理解していたつもりだったのですが、ラケットひとつに取っても上肢の筋活動の違いや通常のテニスで起こり得るスポーツ傷害とはまた違った視点での介入が必要であると感じました。また、各傷害に対しての理解も解剖学や運動学の視点からお話いただき、再確認できたので、経験年数に限らず有意義な勉強会であったと思います。コロナ禍で、オリンピックをはじめとするスポーツ関連行事が次々と延期・中止となり、現場での経験や勉強の機会が減っている中で本日のような勉強会を開催していただけることはとても有意義であり、貴重な機会となりました。また勉強会ならびに現場活動への参加は積極的にさせていただこうと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

#### 車いすテニスのルール

- ・ 2バウンドでの返球OK
- ・ 2バウンド目はコート外でも構わない

他は…  
健常のテニスと同じルール

講義内容については、現場のみならず整形外科疾患の治療をする上で必要となる内容で大変勉強になりました。触診や解剖・運動学・疾患についての基礎的な知識、マッサージやストレッチ・物理療法・テーピング等の治療技術が大切であると感じます。そして何より、何らかの症状に対する評価において症状の原因を適切に判断して、限られた環境の中で治療して効果を出すことが医療機関で勤務しているとき以上に求められると思いました。

橘 優二(大西メディカルクリニック)



# スポーツ活動支援部

## 北播磨・丹波支部・スポーツ活動支援部コラボ研修報告

スポーツ活動支援部は、兵庫県理学療法士の各支部にてスポーツ現場に必要な知識と技術の講習会を開催しております。今年度は但馬支部及び北播磨・丹波支部にて頭頸部、肩、体幹、肘・手関節、股関節、膝、足関節のスポーツ理学療法について合計7講義開催しています。例年は実技を中心に行っていますが、今年度はCOVID-19の影響でZOOMを用いた座学研修に変更しております。



2月14日、頭頸部外傷に対する理学療法について近畿中央病院の前川慎太郎先生に講義をしていただきました。普段の業務では遭遇することが少ない、貴重な内容でした。活発な質疑応答となり時間を延長する盛況でした。

今回で7講義全て終了しました。北播磨・但馬支部の受講者の皆さん、長期間お疲れ様でした。今後は、地域のスポーツ現場を盛り上げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### (感想文)

老健勤務の私にはスポーツとは無縁でした。スポ活支援部の案内は高齢者以外を診るチャンスであることと、理学療法士として社会貢献をと考えていたこともあり、少し軽い気持ちで参加を決意しました。実際に研修に参加してみると、基礎医学だけでなく、スポーツ特性や環境因子等を加味した即応性のある判断が現場では必要であると認識させられ、大変なことに手を出したのではと後悔してしまいました。しかし、分野が違うから難しいと捉えがちですが、分野が違うだけでやることは同じ理学療法であり、少しずつできることを増やしていけばいいだけと思い至りました。少しずつ貢献できるように頑張りたいと思います。今回このような機会をいただきありがとうございました。

佐野 淳平(加東市介護老人保健施設 ケアホームかとう)

## サッカー班ZOOM勉強会活動報告

スポーツ活動支援部では、兵庫県下の様々なスポーツ活動の支援を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、今年度のスポーツ現場での活動は全て中止となりました。来年度からの活動再開に向け、これまでの「Withコロナ」の状況下におけるスポーツ現場の感染対策の状況と活動自粛期間中に選手向けに行った指導実践に関する内容で勉強会を2021年2月11日にZOOMにて開催しました。3名の講師(前川慎太郎・高見良知・梶原大樹(敬称略))に報告して頂いた後、シンポジウム形式で勉強会参加者(38名)を交えて活発な意見交換を行いました。最後に新しい生活様式によって、これからのスポーツ界に起こり得る様々な変化に対し、スポーツに関わる理学療法士としてどのような準備をすべきか、どのような能力が必要かについても話し合われました。



今回のWeb勉強会には、他府県・多職種の方も参加されましたので感想文を掲載させていただきます。

「県内外や職種に関わらず、このような会に参加させてもらえたことをありがたく思っています。私自身がサッカーをしていることや看護師として救命救急で働いていること、息子がジュニアユースチームでサッカーをしていることなどから、スポーツ現場で熱中症や心臓震盪などの予防知識、栄養の必要性を感じ、メディカルサポートの活動を始めました。勉強会で質問をさせてもらいましたが、高校選手権での「感染予防から倒れた選手を引き起こすことはしない」ということに対し、そんなことより感染予防としてもっと他にできることがあるのでは?と聞いていました。感染による自粛が蔓延するなか、やはり感染対策をしている感があり、なんでという根拠が置き去りにされている感じもしていました。私の職場は第1波よりコロナ患者を受け入れており、私自身もコロナ重症患者をみています。きちんとした効果のある感染対策が必要ですが、病院と一般社会で求められる対策には違いがあり、正直モヤモヤしたものがありました。でも今回の勉強会で、スポーツ現場に必要な感染対策をがんじがらめにしないで行っていく必要性、医療的な見解との隙間をうめる役割をしていく必要性、冷静な判断、率先して実施していくことの重要性を学ぶことができました。また今回の勉強会で、せっかく知り合えた方々と交流できる時間があれば、もっと聞いてみたいことがきけたのになあと思ったりしました。今後もこのような活動を続けていただきたいですし、そこから連携が広がることを切に願っています。ありがとうございました。」 山村 麻衣子(看護師・敬称略)

## スポーツ活動支援部

### 柔道班WEB勉強会報告

令和3年2月4日、緊急事態宣言に伴いスポーツ活動支援部の実技を中心とした勉強会の開催が難しくなり、ZOOMを用いた勉強会を開催しました。今回は3つのテーマで行いました。①柔道大会における理学療法士の関わり②柔道現場における応急・救急処置の対応③柔道選手の怪我で多い足関節捻挫に対するテーピングを動画を用いて実施しました。

ZOOMの利点もあり多くの方が勉強会に参加されました。アンケートの結果より、「スポーツ現場に出てみたい」、「柔道現場は未経験だが参加してみたい」といった回答を頂きました。

来年度は新たな事業として、高砂市で開催される籠谷杯争奪柔道大会においてトレーナー活動を行います。参加選手は約1000人の大きな大会になります。大会に向けて選手が安心して大会に臨めるように準備をしていきたいと考えています。

また、多くのスタッフの方々に参加して頂けるように情報共有の場や勉強会を企画していきたいと思っております。是非、ご協力をお願い致します。



### 参加者感想文

柔道の競技特性や柔道選手ならではの工夫の仕方を知る機会となりました。写真や動画で分かりやすく説明していただきオンラインの勉強会でも現場の雰囲気やテーピングの方法をイメージしながら学ぶことが出来ました。

板野 哲也(信原病院)

スポーツ活動支援部のサポートには日頃スポーツ選手にかかわることのない病院、介護施設勤務の理学療法士も多く参加していただいています。スポーツ活動を支援するサポートスタッフに興味のある方は、年齢、経験年数、性別は問いませんので、兵庫県士会HPにアップされる「現場活動のお知らせ」、「勉強会のお知らせ」に是非お申込みください。皆さんとスポーツ活動のサポートをできることを楽しみにしております。

(申し込み先)

スポーツ活動支援部 中西 拓也

e-mail: [supokatsu2008@gmail.com](mailto:supokatsu2008@gmail.com)

～精鋭の教員陣による人間教育～  
**リハビリテーション学部**  
**理学療法学科**  
**神戸国際大学**  
 リハビリテーション学部／経済学部  
 〒658-0032 神戸市東灘区岡上町中9丁目1番4  
 TEL.078-845-3111(代表) FAX.078-845-3300

人にやさしい人になる  
**関西総合リハビリテーション専門学校**  
 PHYSICAL THERAPY 理学療法学科  
 OCCUPATIONAL THERAPY 作業療法学科  
 SPEECH THERAPY 言語聴覚学科  
 E-mail [krc@junshin.or.jp](mailto:krc@junshin.or.jp) 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島7番4  
<http://www.krc-net.jp/> TEL.0799-60-3600 FAX.0799-60-3610

## 保健福祉部

### 研修報告

1月17日、保健福祉部実技研修会「姿勢と動作の理解とその評価」を実施しました。本研修は、参加者同士の相互実習で基本的な姿勢と動作についての理解を深める実技研修として、毎年行っているものです。

今年度は対面研修ができない状況から開催するかどうかを悩みましたが、たとえ相互実習はできなくても、自分自身で動くことで体に起こる変化などを感じながら理解を深めることはできると考え、開催の決断をしました。

これまでの実技プログラムを改めてWEB用に言語化するのは想像以上に大変な作業でしたが、そのための議論や作業を繰り返すことにより、部員達自身も大きな学びになりました。

本番のプログラムでは、途中で体を動かして姿勢や動作を確認する時間を設けたり、参加者同士のグループワークを取り入れて個々の気づきをグループ全体の学びに深めることもでき、研修のねらいは果たせたのではないかと感じています。

今年度は座位姿勢と起立動作を中心としましたが、次回は臥位姿勢や起居動作に内容を広げていきたいと考えていますので、たくさんのご参加をお待ちしています。

## INFORMATION

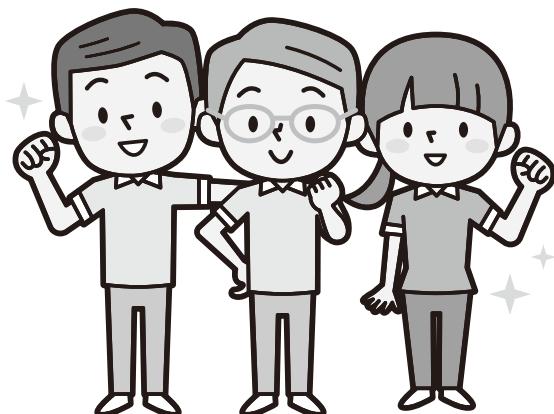
### 保健福祉部より部員募集のお知らせ

このたび保健福祉部では新規部員を2名募集します。

保健福祉部は、地域リハビリテーションの推進、地域ケアの向上のために私たちPTに求められるスキルを身に着けるためのさまざまな事業を実施しています。その都度、企画検討や準備に大変忙しい部ですが、その分自分たちの学びも深くなり、やりがいは持てると確信しています。

事業実施日以外に、毎月第2金曜日19時30分から県立総合リハビリテーション病院で部会議を行っています。ご興味がある方は下記までご一報ください。

保健福祉部 部長 藤井  
pt\_hfb@yahoo.co.jp



### 資料調査部より部員募集のお知らせ

資料調査部では、2021年度からの新規部員を募集します。

活動は士会員等を対象にアンケート調査や士会その他部と協働でガイドブックの作成等の資料作成を行っています。その他診療報酬や介護報酬に関しても情報収集を行い、制度改正の背景や今後について情報整理を行っています。

年間10回の活動を通して、調査や資料作成等で忙しい部です。しかし自分たちの知識の広がりやPTを取り巻く状況を知ることができ、急性期や回復期、生活期の他分野のPT同士で検討し合える場はやりがいのあるものと思います。

是非一緒に活動してみませんか？ご興味がある方は下記までご一報ください。

○活動頻度・時間：10回／年

(平日19時30分から1時間半～2時間)

○開催方法：オンライン中心での開催にしていく方針。  
コロナ禍では全てオンラインとしていますが、その後は年間で数回は集まることもあるかもしれません。

○場所：明石市立市民病院(明石市)

※応募〆切：2021年4月16日(金)

資料調査部 部長

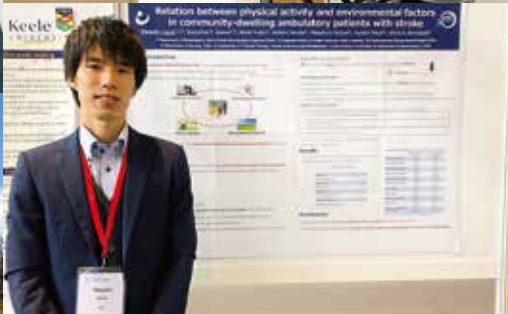
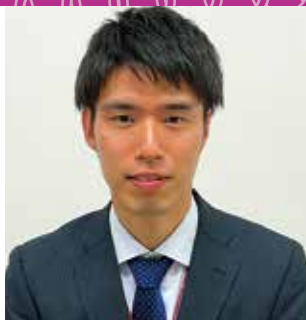
金岡 啓(さんだりリハビリテーション病院)

E-mail: kanaoka@sandareha-hp.jp

## 兵庫県で 活躍する 理学療法士

～数珠繋ぎ～

甲南女子大学  
金居 督之 氏



### 略歴

2010年  
神戸大学医学部保健学科  
理学療法学科 卒業  
2010年～2019年  
伊丹恒生脳神経外科病院  
2015年  
神戸大学大学院保健学研究科  
博士前期課程 修了  
2018年  
神戸大学大学院保健学研究科  
博士後期課程 修了  
2019年～現在  
株式会社PREVENT  
2020年～現在  
甲南女子大学

### 趣味

■ 子どもと遊ぶ、読書、英会話

### モットー

■ 凡事徹底、座辺師友

私は甲南女子大学の理学療法学科教員として働いています。入職早々に緊急事態宣言の発令があったため、担当科目の多くはオンデマンド授業に変更となりました。オンデマンド授業のメリットは、「繰り返し視聴できる」「自分のペースで視聴できる」などありますが、反対に「集中力が切れやすい」「言ったことしか伝わらない」などのデメリットもあります。少しでも学びのある内容となるように、今なお組み立て方を模索中です。

私はヘルステック企業で働いた経験から、モバイルヘルスに関する研究を行っています。モバイルヘルスでは、主にスマートフォンやウェアラブル端末を活用したデータの集積、データに基づくフィードバックなどが行われます。モバイルヘルスでは、理学療法士が対面での指導を行うことができません。しかし、集積されたデータをもとに仮説検証・臨床推論を行う能力が求められるため、理学療法との親和性が高い分野であると考えられます。理学療法士の職域拡大により、今後は新規分野へ興味を持つ学生が増加することも考えられます。大学教員の立場として、これらの分野への就職支援のためのチャンネル開拓も、私の責務の一つと考えています。

今回は、大学院時代からお世話になっております神戸大学大学院保健学研究科の沖侑大郎先生をご紹介します。

## 表紙写真

昨年よりCOVID-19の影響で理学療法士を目指す学生が現場での臨床実習を十分に経験できない状態で治療に携わることが予測されています。現在の教育現場の試行錯誤の過程を知り、臨床現場での卒業教育を充実させるきっかけとなるように甲南女子大学看護リハビリテーション学部の野添匡史氏にお話を伺いました。

写真は学内に模擬患者にお越しいただいて行う学内代替演習の様子。

県士会だより 第189号  
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者／岩井 信彦

編集者／前川 健一郎

ホームページ

<http://hyogo-pt.or.jp/>



## 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階

TEL 078-367-7311